

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 027号

「傾聴」の奥深さを実感して

繁田 高広さん

会社名：社会福祉法人千葉県福祉援護会

所属：障害者支援施設ローゼンヴィラ藤原 役職：施設長

資格：産業カウンセラー、社会福祉士



【受講のきっかけ】

もともと福祉分野で社会福祉士として相談業務に携わってきましたが、今の立場になってからは主に職員からの相談を受けることが多くなりました。労務も含む多様な相談を受ける中で、職員が様々な意味でやりがいを持ち健康に働ける職場づくりをしたいという思いから、関連する知識や技術を身につけたく、平成 27 年度の養成講座受講に至りました。

養成講座を受講した収穫は、様々な業種に就かれています受講者との交流を通じ見聞が広がったこと、面接演習を通じて相談場面における自身の課題に気づけたこと、そして何よりも否定されない環境にいることの安心感を生の感覚として実感できたことでした。それも恵まれた講師と受講者との出会いがあったお蔭であり、感謝の気持ちとともにその時のことが思い出されます。

【資格取得後の活動状況】

職員がやりがいを持ち健康に働ける職場づくりをしていくためにできることは何か考えた時に、「傾聴」の二文字が頭に浮かびました。養成講座で体験した否定されない環境にいることの心地よさや安心感といったものを職場内に広げていくことで、良好な人間関係の醸成と、ご利用者支援の質の向上も期待できると考えたからです。

具体的な取り組みとして、まず、職業能力開発協会の「キャリア診断サービス」の活用を通じ、キャリアコンサルタントの面談を受けることができました。その後ストレスチェック制度の集団分析結果への対応として、日本産業カウンセラー協会東関東支部の職場環境改善指導計画に基づき、キャリアコンサルタントの面談を受けることができました。いずれも勤務の関係から一部職員に限られましたが、ある職員は「ここまで話を聴いてもらったことがなかったので、とてもよい経験をした」と語ってくれました。利害関係のない「話を聴くプロ」と接した職員は「傾聴」の持つ奥深さを感じてくれたようです。あわせて日本産業カウンセラー協会東関東支部の無料傾聴体験講座を紹介したところ、休日を利用し参加する職員もでるなど、「傾聴」への関心度の高さを感じました。

私どもは常に人と接することが中心の仕事であり、日々様々な人間関係が育まれています。人間関係づくりに傾聴スキルは大きな味方になってくれると思います。養成講座で学んだ傾聴スキルを自ら実践し職場内に広めていくこと、職員がやりがいを持ち健康に働ける職場づくりのために、職場内外で相談のできる環境づくりなど、職員援助制度の規程化実現に向けた取り組みを、今後の課題として活動していきたいと考えています。